健康殺育

沖縄代表健康優良児童を,東京の宿舎で歓迎し, 紹介しあう本土の特選健康優良児童たち (朝日新聞社提供)



☆	健康教育のあゆみ 2
☆	豊井の教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
☆	健康優良児日本一瀬山富士夫のこと… 6
☆	大切な課題・・・・・・・・・ 7
☆	日本一の富士夫を育てて と
☆	健康優良児は人間優良児 5
☆	担任としてねがうこと10
☆	受賞に寄せて11
☆	殿貝さんのことば12
☆	近視予防について13
☆	肝油ガーゼのおすすめ15



健康教育のあゆみ

愛知県豊橋市立羽根井小学校長

川 口 守

I 地域の概要

豊橋市は愛知県の東南,波静かな三河湾が広がる渥美半島のつけ根にあって,人口24万,名古屋につぐ県下第二の都市であり,東三河の中心都市である。

戦前は製糸の町、軍隊の町として発展してきたが、現在は 天竜、東三河総合開発計画などの拠点として脚光をあび、新 しい産業都市として体質改善が進められている。

学校は市の西部に位置し(東海道新幹線豊橋駅下車,西口から南西へ徒歩約10分)戸数約2,500戸,人口12,000余人の市内では大きな校区にある。

この校区は、戦前は糸の町として隆盛をきわめていたが、 昭和20年の空襲で、校区の70%強を焼失し、ほとんどが転業、戦後は中小企業の町工場が点在していた程度で、住宅地 の性格をもつようになった。

そして、この校区は、駅裏ということで発展が遅れたためか、生活水準が低かったためか、長い間土地の人々から「せんろにし」と呼ばれ、ややさげすんだ目でみられていたこともあった。

しかし、マスコミや高度経済成長などの強い影響を受けて、他の地域と同じように、校区内の田畑やあき地は次々と工場や住宅地に変ぼうし、道路は舗装され、交通量は激増といったように、子どもをめぐる環境条件は大きく変転していった。

日ごとに進展する生活の合理化に伴なって,それぞれの家 庭生活が改善され,親たちにも精神的ゆとりを与え,現在は 子どもの教育に非常に熱心な校区である。

Ⅱ 保健活動こそ教育のすべて

本校では「からだに気をつけ、いのちを大切にする子ども」を育てることを第一の目標として積極的に努力している。

「いのちを大切にする」という意味は、健康を強化し、お 互いのからだとその能力の可能性を実現していく努力を要求 しあう精神を子どもの中に育てるという積極的な 内容を さ し、ただ単に子どもの危険を防止するというようなことにと どまるものではない。

健康こそは、子どものからだの正常な発達と、精神的発達をはかるすべての学習活動を保証する基本的条件である。したがって、わたしたちは、その健康へのいとなみである保健活動こそ教育のすべてだと考え、子どもたちが、たくましい体力と深い知恵と、どんなことにも耐えぬく強固な意志と、旺盛な生活意欲をもち、そして、思いやりのある豊かな心をもったときこそ、ほんとうに美しい人生と、健康にして豊かな生活があることを信じて、子どもといのちがけで取っ組んできた。

Ⅲ 過去のあゆみ

(1) 教育活動としての学校給食

本校は昭和8年に創立され、戦前は偉容を誇る鉄筋三階建 ての校舎と共に、東海の先進校として、その名は全国に広が っていた。

しかし、前述のように、戦災で校区は荒廃し、 校区に 470 本もあった製糸工場の煙突も跡かたもなく、昔の繁栄をしの ぶよすがもなくなってしまった。

子どもたちは食糧難,貧困の中で栄養失調に陥る者も多く,30年ごろまで,体位は全国平均をはるかに下回わっていた。

そんな中ではじめられた学校給食は、校区民の関心も乏しく、ときには貧因のあまり思わしからぬ声も流れ、かげの問題として、いささかの支障があったが、学校給食計画事業の実践を通して保護者の一般は給食内容を理解し、保健活動への関心が高まるとともに、PTAの協力も加わり、昭和29年の完全給食実施に対しては、世論も絶対多数の賛成を得るに至った。

昭和30年学校給食優良校として県教委から表彰を受け、さらに32年、学校給食の研究委託を受け、給食室環境も現在の 鉄筋コンクリート三階建築リフト付の給食室が新設された。 以来,学校給食のめざす栄養の合理化摂取ということと同時に一般家庭の食生活の改善をはかることに努め,学校と家庭が緊密に連絡をとりながら,大きな成果をあげてきた。

そして、昭和35年には学校給食優良校として文部大臣表彰 を受けた。

学校給食に関連して指導してきた手洗い運動,ハンカチ二 枚運動,消毒の実施などが,現在では子どもひとりひとりに 習慣化され,家庭生活にまで浸透し,健康生活を高めようと する意識が急速に統一されていった。

(2) 「未来に生きる体育」の経営

健康へのいとなみは、教育のすべての内容が、学校と家庭 との計画的、組織的活動によってすべての内容がバランスよ く経営されなければならないことはいうまでもない。

しかし、健康を強化し、将来、自分のからだを自由に統制 し、支配する能力をもった、たくましい、エネルギッシュな 人間に育てあげるためには体育経営の充実が大きな課題であ る。

本校では昭和38年から本格的にこの課題と取り組み、子どもを伸ばす体育の諸条件を整備し、ひとりひとりの子どもの自分のからだとその能力へのねがいを集団の中で大切にし、主体的に体力を高めていく指導の方法を究明してきた。

わたしたちの体育にかける期待は「未来に生きる体育」と 題して、器用さづくり、安全技能などの指導内容や、複数担 任制、チーム・ティーチングなどの指導形態の現代化を目指 し、また、全校運動、課外運動、クラブ活動や家庭体育につ いて本校独自の特色ある実践を積みあげてきた。これらの実 践と成果は、各地の全国研究集会や県下の研究会等で、機会 あるごとと発表し批判を仰いできた。

この結果,子どもの体位,体力は着々と向上し,現在は全 国平均を上回わり,市内で行なわれる各種の運動競技会では 毎年抜群の成績をあげ,羽根井の体育は注目を集めている。

(3)教育の現代化

21世紀は遠い未来でなく、いま、わたしたちの眼前にいる 子どもたちは21世紀のあけぼのの主人公として活躍が期待さ れている。

そして教育の世界も、もうすぐコンピューター教育が採用 される日が迫っていることが想像される。

これらを考えあわせるとき、わたしたちは旧態依然とした 教育の方法にばかり依存しているわけにはいかない。

本校では昭和37年の視聴覚教育の研究を手はじめとして, 能率のよい徹底学習によって学習の効率を高め,複雑化する 社会機構や機械文明の発達に遅れをとらず,むしろ,それら をリードし,利用していける経営を目ざしてきた。 視聴覚教育では「より豊かな人間を育てるために」をテーマに、V.T.R (ビデオテープレコーダー) 映画の活用、テレビ、ラジオの学校放送の利用、テレビ校内放送など視聴覚教材をフルに活用して成果をあげ、昭和38年には視聴覚教育のグランプリ、視聴覚教育奨励賞を獲得した。

現代化への試みとして、このほか指導内容の多角化にともない、担任のもつ個性と能力を生かす学年経営のあり方を、 複数担任制、教科担任制、チーム・ティーチングなどのシステムを通して過去3年間実践研究している。

その中で、複数担任制は男女ふたりの教師によって1学級を担任するという新しい試みである。そのねらいは、学級王国を解消し、独善化を防ぎ、相互の協力によって教育の偏向を正すこと、子どもに男女の教師の特性にふれさせ、それぞれの長所を吸収させるなどであるが、それらはあくまでも、子どもひとりひとりを生かし、その能力を開発し、身体および精神の健康のもとで意欲的に学ぶことのできる学校経営の布石である。

(4) その他の活動

その他の活動では、過去に全日本器楽コンクール優秀第一位などの実績があるが、ことに、近年の社会情勢の中で重要 視されている安全教育の面では、その積極的な活動が認められ、交通安全優良校として昨年全国表彰されたのをはじめ、 数々の表彰を受けている。

なかでも、自転車の安全な乗り方コンテストでは、中部地区大会で3年連続優勝、今年度は全日本大会で団体第二位、個人優勝の栄誉に輝き、5年生の伊藤元万君が、来る5月、スペインで開催される世界大会に出場する。

(5) 家庭教育の確立

本校の特色の中で、最も誇りうるのは地域保健の組織と活動である。

特に母親を中心とした保健活動が、数年にわたり地道な活動を続け幾多の成果をあげてきた。そのあゆみは学校給食により芽生え、家庭視聴覚委員会→家庭生活指導委員会→母親保健委員会と発展してきたが、41年に文部大臣表彰を受けるまでに成長した。この成果は家庭教育の確立を立証するものであり、地域社会や校医の方々の協力とともに、この母親たちの主体的な力強い活動が、羽根井の教育を日本一健康優良学校にまで育てあげる基盤になったのである。

意をつくせないが、健康教育はあくまでも調和のとれた学校経営を展開することであり、勝負は子どもの姿である。日本一の責任の重大さを感じつつ、ここに、本校の概要を記して、諸賢のきびしいご批判を仰ぐ次第である。



豊井の教育

山口県下松市豊井小学校長

澄 村 武 男

校区の概況

下松市は、山口県の瀬戸内工業地帯の中心で、日立笠戸工場・日本石油製油所・日本鋼鈑・笠戸造船の四大工場と、それらの下請並びに関連産業により賑う所で、人口5万、今後の発展が約束された町であります。

当豊井小学校はこの町の東部にあって,工場群が南の海岸の方に見える,社宅やアパートに囲まれた山の手の比較的静かな住宅地帯の中央にあります。

今,工場地帯となっている海岸は、元の塩浜でこの塩田の中に清い水がこんこんと湧出る泉があり、この井戸が豊井の地名の元だとも言い伝えられています。毛利公の三白政策で賑やかだった塩浜も、昭和の初期から次第に埋立てられ工場となったもので、校区内の人々の半は、工場の発展と共に各地から集まった人々であります。それで保護者の職業も70パーセント以上がこれらの工場の関係者であり、残りの30パーセント近くが公務員や自由業、商業などであります。

学校の歴史

学校は明治15年の創立で、児童数の一番多かったのは昭和 32~3年で650人15学級でしたが、次第に少くなり、今は3 百余人10学級編成であります。

昭和22年、時の校長は、日本の復興を科学教育に求められてか、広島大学教育学部の教育実験校となり、理科教育の深化に全職員と一丸となって打込み、この面の児童の力を伸ばされました。この努力は本校職員の奉仕活動並びに研究活動の伝統を作り出す基礎となりました。その後地域の実態(社宅アパート住い)からくる要望も考え、PTAと一体となり学校の緑化をも推進していき、科学教育は科学実技教育と発展し、児童の心情を育てること、科学性を養うことと同時に進めるようになりました。

また一方,児童の体位の向上にも努力し,そのための学校 給食の重要性に着目,これの研究と適性な運営,家庭の食生 活の改善などいろいる考え実績を上げてきました。また一方、基本的な衛生の徹底を期して家庭との協力のもとに自主的な習慣形成がはじめられました。これらの事は学校給食の全国表彰となり、ソニーの百万円受賞校として表れ、また学校緑化で全国特選校となり、PTAの全国表彰となって表れてくるようになりました。

このようにして知・徳・体を三本の柱として全人教育を押しすすめてきた本校の教育は、昭和36年準健康優良学校として県の表彰を受け、一年おいて38年度からは、県一健康優良学校として6回連続賞を受ける結果となりました。幸にも本年度は「日本一健康優良学校」として賞を受け、喜びにたえません。

過去二十年,子供のためを考え、学校、家庭地域が一体となり、よりよい環境で、厳しく躾ける経営の伝統と、そのための努力が、ようやくつぼみを出しはじめたような気がします。

このたびの受賞を機会に、さらに誇りと自信をもって児童 の教育に努力したいものであります。

児 童 像

- 進んで健康になるよう,努力する子
- よく考え、勉強にはげもうとする子
- きまりを守り, 互に協力しようとする子
- 美しい豊かな心をもとうとする子

以上が私の学校の児童像であります。本校の伝統的な教育 目標は全人教育であり、その方針は児童の自主性を伸し、三 本の柱がよりよく達成されるための環境を、教師と父兄の手 で作り、厳しく躾けていくことであります。この目標と方針 を児童の上に投影したとき、本校の児童像が生まれたわけで あります。

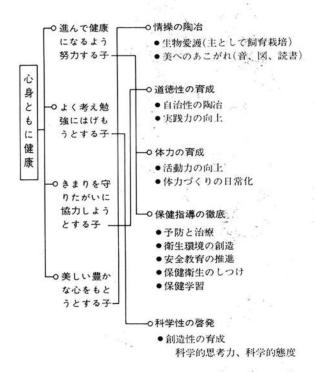
この児童像は、教師の指導の共通目標であり、この目標への具体策が、研修のときの合言葉にもなり、反省批判のときの評価の元尺にもなるのであります。また、この児童像は、

個人として、家庭人として、社会人としても望ましい人間へ の発展を含んでいることを確信しております。

指導の重点

全人教育を目ざしての毎月の活動は、全教育分野に努力しているのであるが、工場従業員の子弟が多い点、社宅やアパート住居者が多い点、安全に全身活動をする場所の少い点などや、本校の伝統、県・市の指導の重点などから教育の推進の重点を定め、職員研修などもここに焦点を合せて努力しているのであります。児童像との関係においてこれを見ると次のようになります。

(児 童 像) (指導の重点)



PTA との協力

子供を育てるには、学校、家庭、社会、この三つの協力の 必要なことは言うまでもないことでありますが、協力の仕方 については各校でいろいろな仕方があると思います。

私の学校のPTAも、当初は学校内の環境作りに協力して下さいました。それがほぼできあがった現在でも、その事がPTAの部活動としてあります。現在の協力は、子供を育て

るうえで学校、家庭が各自その受持つ力を十分発揮し合い、 「家庭では家庭教育の本質を考えて子供を躾けていく」と言 うことを重点にしてやっています。

そのための家庭教育学級も父兄の手で立案し、運営もほとんど自分たちでなされるまでになりました。

家庭教育学級の学習内容も「家庭学習」についてよりも「心情の陶治」「性格形成」「根情の育成」等の方が多くなり、学校教育と相待って子供を育てていくという気運がたかまり、ここに初めて、よりよい形での「全人教育の場ができてきたように思われます。学校だけの全人教育はどこかに無理がきます。

校医・薬剤師との協力

治療、疾病予防、環境衛生、そのどれをとって見ても、専門的な知識を必要とするものでありますが、校医、薬剤師の 先生方の積極的な協力がなければ、その場限りの施策になって健康管理が十分できません。

その点私の学校では、学校と校医、薬剤師とが両方から連絡をとり合っております。往診の帰りなどは学校に立ち寄って、いろいろな助言をして下さったり、校区内の病気の状態など話して、流感などに対しての処置について早めに手を打つよう指導があります。学校もその時々の欠席の状態、環境衛生上の問題点などを報告し、学校の様子が校医先生方に常にわかるように努力しています。

おわりに

一番くわしく報告しなければならない指導の重点を要項だけにしたのは、ページ数のことよりも、どこの学校でもやっていることであるからです。私の学校がこのたび表彰を受けるようになったのは、特殊な良い教育方法を見つけだしたからではなく、あたりまえの事を他の学校より少し長期にわたって努力し、幾分徹底し、わずかにその成果が上であると言うことだと思います。

だから、私たちは決して現状に満足しているものではありません。週一回の研修日には、午後6時、7時頃まで、時には有志の者だけ残って8時、9時までも討議を続けています。子供の自主的な態度とか主体的な活動とかは、そう容易にはできません。そのための方法に一番苦心しています。

私たちはこのたびの受賞で私たちの教育の方向に自信を得ました。しかし、それ以上に毎日の指導に責任を感じ、今後の努力を誓い合っております。



健康優良児日本一 瀬山富十夫のこと

群馬県太田市立九合小学校長 田部井邦

1 九合小学校の横額

港に行った。

空港の受付けをすまして港内に入ると、スマートな東京弁 のアナウンスによって案内される。「クゴウ小学校の皆さん, 本日は、ようこそ……」と言われたことがある。正しくは九 合(くあい)小学校と読みます。

明治23年小さい村を九つ合わせて一村を作ったので、村名 をそのまま九合村としたようである。

昭和15年九合村は太田市に合併、その後第二次世界大戦に より、太田市にあった中島飛行機製作所(現在の富士重工一 自動車スバル製作)が軍需工場として膨張してきたために学 区内の人口も遂次増加してきた。

戦後,昭和35年太田市が首都圏の指定を受け、都市計画が 九合地区に実施されてから, 従来からあった市役所を中心に して、消防署、警察署等も学区内に移転し、市民会館・図書 館も年内の完成を目ざして進められている。また、太田駅の 南口を中心にして三階建四階建のビルが立ち並ぶ商店街も田 んぼの中にたちまち出現するというような状況で、常にブル トーザーがうなり、ダンプカーが飛びかい、学区内は町作り に狂奔しているような感がする。

学校の校地も,来年度末までに北と西を6メートル道路, 東は12メートル道路,南は19メートル道路に囲まれる予定で 大きく変えられる。

普通学級24,特殊学級1,言語障害児のためのことばの教 室1,合わせて26学級,児童947名で市内小学校12校の中で は最も多い。

保護者は、10%が農家で、90%は工員・会社員・経営者等 が主となっている。

子どもたちは, 比較的家庭環境に恵まれ, 協調性, 社会性 に富んでいるが、慎重さ、たくましさ、粘っこさに欠けてい

瀬山富士夫は, こんな学校の六年生である。

2 瀬山富土夫のあれこれ

二,三年前,春の修学旅行で六年生といっしょに,羽田空 O 身長 165.3cm 朝会の時,一番後で長髪の突き出たの がそれである。

> 体重 61.2kg 昨年秋の運動会の時は,800mリレーの 最終走者, 重量ある彼の体は加速され, ゴール寸前2,3 人を抜いて1等になる。

- 好きな教科は教学,しいてあげるならば体育だと彼はい う。しかし走力は抜群, 100mを 13.2 秒で走る。県内小学 校の記録会では第1位、走高飛は第2位であった。一番の 難点は投力で、県で行なわれた審査会の時も第3位であっ た。――下学年のときは、野球より女の子のするお手玉が すぎだったそうだから止むを得ない。
- 二人兄弟の兄 頑張りやでよく学習もする。掃除,洗た く,食事等のお手伝いをよくする母親思いでもある。

肉・野菜は大好物,殊に野菜はバリバリ食べる大食家で ある。沖縄訪問の期間中, 母親の心配は, 腹をへらしてい ないだろうかということただ一つであったようである。し かし本人は、2kgも肥って帰郷した。--沖縄の豚の耳の ご馳走がきいたらしいといっている。

3 これからも伸び伸びと

昨年度, 近接の市内太田小学校の野口美佐子さんが日本一 になったので, 太田市から連続日本一ということは, 不可能 な事であるとしていた。ところが事もあろうに実現したので ある。彼をとりまく私たちは、夢のようなできごとに嬉しさ も格別である。本人の栄誉はもちろんのこと、学校としても 自慢の種が一つふえたことになる。――本人の素質、努力、 家庭の力が大部分であるが――昭和36年,本校では、渋沢博 子が特選になっているので、特選は2回目になる。

11月3日の朝日新聞本社での表彰式,翌日の横浜子どもの 国全国会議の司会, そして帰郷後, 県と市の表彰式とたび重 なる式に参加したが、おごらず、たかぶらず、落ち着いた態 度でそれに答えている瀬山を横に見ていて, やはり日本一な んだなという感を深くした。

1月7日から12日までの6日間のめまぐるしい沖縄訪問を終わって、13日の月曜日の朝、「行ってまいりました。」と少しも疲れた顔を見せず帰校報告をした瀬山である。

優良児童審査が、学力、体位、体力だけでなく、性格、態度にも審査の力点がおかれているものと考える。

表彰式後開かれた朝日新聞本社内でのレセプションの時, 特選児童に対して,審査委員長から次のようなお話があっ た。「文化勲章等の表彰は、その人の成果、結果に対する賞 である。健康優良児は、過程の賞である。ゴールしてからの 表彰ではない……」と。

表彰されて帰校後初めて職員室に顔を見せた時,「日本一の誇りと同時に日本人の中のひとりということも大切だよ」と,ある先生にいわれていたが,日本一という誇りを持つと同時に,それを重荷とせず,自分の可能性を伸び伸びと十二分に発揮するよう切に願っている。



大切な課題

九合小学校教諭

担任 江 原 政 夫

「お早ようございます」

寒風はだをさす厳寒の中にひびくすみきった声,やや女性 的なひびきさえ感じる。顔をあげると、そこに明るい笑顔で 富士夫君が立っている。短かい半ズボンから、はちきれそう にのびた足、めぐまれた体格と、きたえられた体、雨の日も 風も日も彼は絶対に長ズボンをはいたことがない。

柔らかな物腰の中に秘められた闘志、どんなときでも決してあわてず、物事を論理的に解決しようとする態度、そのうえ明るく、ユーモアもあり、つねに他人の立場を考え、何をたのまれても決していやな顔をせず必ずやりとげる。目標を立てて努力すればどんなことでも必ず実現できると言う信念をもって、全力をふりしぼって当たる意欲的な生活……。

すなおでまじめな素振りには,ついこの間日本一健康優良 児として晴れの栄冠をかちえたという晴れがましさや,気負った感じは,みじんも見られない。

以上が富士夫君についてのおおよそのプロフィルであるが……。

富士夫君が本校に転校して来たのは五年生の初めである。整った風貌と、すぐれた才能 (学力)、人一倍大きな身体が目立ったほかに、もう一つ意外さを思わせることがあった。それは、休み時間など、あまり校庭で運動せず、教室内で過すといった、他の男の子に見られない物ごしのやわらかさであった。この事は、本人も述懐しているように、小さいころから女の子に囲まれ遊び育ったという環境的なことに起因しているのであろうが、その富士夫君が、自分の持つ体力的な

能力に気づき初めたのは、五年一学期の小運動会のときである。リレーの選手に選ばれた彼は、健闘してチームを優勝させた。そのことがきっかけで、体育クラブの一員として他の仲間たちと放課後トレーニングをするようになった。

しかし、もともと運動が好きであったわけでない悲しさから、走力はともかくとして、他の運動機能のぎこちなさは、相変らず目についた当初であったが、体育主任を中心に、厳しく節度のある練習の中で鍛えられた彼の走力は、校内はもとより、近接の小学校では並ぶ者もないほどまでになった。そして、このが事が彼に、努力すればどんな事もできるという大きな自信と勇気をもたせる結果となり、担任や友人を相手に、始業前、休み時間、放課後と、次第に運動の領域を広げ、優良児の審査会当時には、走力では、100×-トル13.2 秒、ソフトボール投げは46×-トル、走り幅とびは4.76×-トル、けんすいは8回、走り高とびは1.42×-トルと、きびしい練習により、すぐれた成績をおさめるまでに成長していった。

以上、富士夫君について簡略に記したものであるが、その後、富士夫君は、「僕は、日本一になるより、準日本一ぐらいでよかったと思う、そのほうが張り合いがあるし、かんたんに、日本一になってしまうと、うぬぼれてしまうのではないだろうか、しかし、それをうぬぼれないようにするのも日本一ではないだろうか、この日本一の価値はふみにじらないよう、努力に努力をかさね、りっぱな社会人になりたい」と言うようなことを語っている。

担任として、家庭における教育も、素質もりっぱであるが、こうした心構えこそ、今後の富土夫君にとってもっとも 大切な課題であろうと考えています。



日本一の 富士夫を育てて

母瀬山敏子

富士夫が日本一になったことは、一口に言えば、恵まれた環境と運が良かったからと思います。

富士夫という名前は、主人が名付けたものですが、主人もいろいろ考えた末、姓が瀬山であるから、名前を山にひっかけて、山で高く美しく日本人に一番親しまれ、あこがれの的になっているものということで、日本一の山、富士山の名前から富士夫と命名いたしました。「実に良い名前だろう。」と主人は当時から私に言っておりました。私も同感で二言はありませんでしたと同時に、私達は、生れたときからすでに、息子に日本一の立派な人間を夢見、また育てようと、かすかな願いを持って育ててまいりました。

その日本一が実現したわけです。本人はもちろん、私たちもまさかと思っておりましたが、11月3日に晴れて日本一の名誉を得られ、この上ない感激に「よくやった。」「よくやってくれた。」と、うれし涙で一杯でした。長い苦しい道も一ぺんに飛んでしまったような気持でした。これもひとえに校長先生はじめ、諸先生方々、先輩の方々の暖いご指導があったからと深く感激いたしております。本人の努力のみでは、成就できなかった事でしょう。幼児が成人するまでには、いろいろの要素があり、それがうまく調和され、混合され、発展して行くのだと思います。

富士夫は横浜に生まれ、5才の時、現太田市へ転居いたし

ました。カッコィイ団地っ子から、野性的たくましさを会得させたいと思いました。未だなかなかままになりませんが、 今横浜で成長していたらどうだったろうと思うと、やはりいなかにきて良かったと思います。小学校に入学してからも、 私の勝手から転校したりしましたが、良い方へと伸びてくれましたので安堵の胸をなでおろしたりしました。

恵まれた環境と申しますが、富士夫の場合、逆境が、また満たされない生活が、すべて向上につながったと思います。 教えざる師と、親切に手と手を取って教える師と、何れが良いか、本人自身のみが解いてくれる問題であると思います。

市の代表になり、次に県の審査になった時など、自信がなく本人も迷ったようです。そこで、私もそんな迷い時、やればできるんだからと何回となく励ましてきました。県一になってからは、ある程度自信を得た様子でしたが、本人も良い勉強になったろうと思います。

よく、人から「日本一になる方法は……」と、尋ねられますが、正直にいって方法は何もありません。ただ本人の努力と、それをとりまく周囲の環境、先生方の指導につきると思います。今さらのように、日本一という語の意味を私達もよくかみしめて、おごる事なく、きょうただ今から、「人に信頼される人物になって」の指導方針のもとに、ますますりっぱな人となるよう、見守ってやりたいと願っております。

片 々 草

■ ロンドンのスモッグ惨事 いま大阪・東京の空を覆う。産業成長と公害、PPMに神経が高ぶる。

考えているとき梅の白さかな

■ 「日本の子どもの口の中には、一日中キャンデーが入っている」とは、外国の学者が放った驚きの声

キャラメル配る母の手温し ストの手へ

■ 健康優良校は 成果の賞 健康優良児は 過程の賞

土をほめ 葉をほめ 花をほめにけり

(S.0)



健康優良児は人間優良児

大阪市立愛日小学校長

北川吉郎

1 はじめに

昭和30年に前前任校,東田辺小学校で健康優良児準日本一が生まれ、ちょうど13年振りに殿貝よしえさんが日本一になってくれた。本人はもちろん、私までが両陛下からありがたいお言葉をいただき、多くの皆様方から祝福され、喜びと光栄、これに過ぎるものは無く、全く感激の極みである。

今私は、今までいただいた広く社会の人々の厚意に報い、 全国児童の健康が更なる向上をすることを願って筆をとって いる。

2 健康優良児とは

元来私は次のように考えていた――健康優良学校日本ーは、校長以下全職員、PTA、地域社会の人たちが一致団結し長年月をかけて校下児童の健康の増進に努力されてきた結果であるが、健康優良児はそれに比較して、いささか偶然性があるのではないか――と。

しかしながら、殿貝よしえさんを育てられた両親の12年間の努力を思うと共に、また学校においては、殿貝さんが将来の健康優良児と目されたのは少くとも3年前で、そういう意識をもって本人や全児童に対する健康教育に当ってきたことも見逃してはいない。

健康優良学校は教育優良学校であり、健康優良児は人間優良児であると考える。事実、東京における2日間の審査内容を見てもそうであるように、身体的、精神的に健康であるばがりでなく、社会的にも健康であり、さらに子どもながら哲学的にも健康でなければ日本一にはなれない。しかも、ただたんに現在の状態が健康であるばかりでなく将来を見通して一ていると聞くが一健康が維持できるという予想が持てなければならないばかりでなく、さらに、現在は"子どもらしく"あらねばならないのである。殿貝さんが東京の宿舎で、起床後ひとりで寝床を片づけていたことを、偶然にもこっそり審査委員の方に見られていると聞いて、その審査の幅の広さに

驚くのである。

3 愛日小学校

殿貝よしえさんについては、お母さんと担任の北畑先生が 書く予定であるので、私は本人の学ぶ愛日小学校について説 明したい。

愛日は明治5年(1872)に誕生し、大阪における最も歴史の古い学校の1つで、「孝子愛日」という漢代の学者揚雄の「揚子法言」という漢書の中から校名をとっている。大阪で有名な「船場」は実にこの地であって、商社・銀行の高層ビルが林立し、日本商業の一大中心ということができる。校区の真中を、パリのシャンゼリゼに比較できる御堂筋が銀杏の老樹を飾りにして走り、子どもの大半は地下鉄で通学する。校庭は60m×40mの広さで、冬季は隣の高いビルの陰でほとんど日中日光が直射しない。

4 この学校では

9年間「はたらきかける子」(本年度サブテーマ「思考力を伸ばす」)の育成をテーマに掲げ、自主的・積極的・主体的な生活態度を持つ子どもの教育に努力し、自分に、友人に、社会に、国際的にはたらきかけ、次代の船場商人ののれんを守り、さらに発展させることを悲願としている。そしてそのためには、幅広い人間としての健康度が教育の手段としても目的としても強く必要視されているのである。

5 日本の教育

4年前、私は文部省から派遣されて45日間ョーロッパの教育事情を視察した経験があるが、乱れに乱れた戦後日本の教育に麻痺された私の頭脳が、一度ョーロッパの地に足を踏み入れた時に彼の地の教育のきびしさと、おとな子ども共々に道徳的社会的に健康であることに一驚を喫し、頭上に一大鉄槌をくらった感じがしたのである。甘やかされた教育は国家の将来を誤るもでのあり、道徳率の低さは世を乱すものであることを痛感し、身心一如の立場から健康教育の在り方を探

究し、人間としての広い健康度の上昇こそ教育の根基である ことを、いやというほど知らされたのである。

6 終 り に

愛日校6年生の殿貝よしえは、健康優良児日本一に査定されたが、この名誉と実質を末永く持ち続け、完全な健康を保ちながら立派に成人し、この上とも幸福であり、社会のために尽力してくれることを神かけて祈っている。今年の年賀状には、彼女の晴姿の写真を印刷して1,000人の友人知已に報告し、この喜びをわかちたいものだと考えている。

健康優良児日本一 殿貝よしえさん ――担任としてねがうこと――



大阪市立愛日小学校 北 畑 田 鶴

東京有楽町の朝日新聞社の待合室。「ただ今から昭和43年 度健康優良児日本一を発表いたします。女子代表大阪府大阪 市立愛日小学校殿貝よしえさん」一瞬緊張した空気を破って 拍手がビルの中にひびき渡りました。事実、半信半疑で自分 の耳をうたがったくらいで、私たちの方に浴びせられた視線 に、あらためてうれしさがこみあげてきました。

殿貝さんの,はずかしそうな顔が,びっくりしたような顔が,今でも思い出されます。

それもそのはず、殿貝さんの体位は優良児中央審査の中で は最も小さいのでした。

夏休み, プールでの水泳練習の ある日, (彼の女はクロールで本校女子中一位の記録をもっていました) からだのつごうで泳がれず, 午前から午後にかけてお弁当持ちで, 焼けつくプールサイドで友だちの練習ぶりを見学し, 競泳の際には

声をかけて熱心に応援を続けました。

これは単に水泳だけでなく、彼女の体力、いやすべての学 力に通じる精神なのです。

中央審査で、懸垂力第一位というよい記録を出せたのも, 忍耐強く常に自分に打ち勝つきびしい心の持ち方が,彼の女 の運動能力をよくしたのだと思います。

11月のある日、羽曳野荘園長からお手紙をいた だきました。

……いちょうグループからのボール箱入りの荷物が届きました。『いちょうグループ』 首をかしげましたがわかりません。住所も名前も書いていないのです。ところが荷物の中にお手紙がはいっておりました。愛日小学校の生徒さんということがわかりました。

5人でいちょうグループを組んで、小学生々活の最後 のしめくくりとして何かよいことをと思って社会福祉に のり出しました。わたしたちが一度使ったものですが、 役に立てば光栄です。ささやかなものではございますが お受けとりくださいませ。

と書いてありました。やさしい子どもたちに、ただただ感激するばかりです。いずれ子どもからもお礼をさしあげますが、取りあえず、よろしくお伝えください……

との文面でした。

これは、殿貝さんたち女子5名のグループで相談し、自分たちの力でできる小さい善行を、しかもとく名でおこなったのでした。ここにも模範的な行動の一面を知ることができます。

教育とは、すべての行動の中で、すべての学習の中で、人間性をのばし、人格をみがきあげていく過程だと思うのです。

体力だけすぐれていてもだめだし、学力だけすぐれていてもだめです。全人間につながる「思考力をのばす」(本校の研究目標)ことを基盤とした転移力のあるものでなくてはならないのです。彼女が学習面、行動面、体力面、すべてにすぐれているのは、自分をとりまく人たちのよい教えを、自分の力で受けとめ、常に反省し、そして最高に学びえてくれた子といえるでしよう。

この秋に出品した「東洋の魔女を読んで」という読書感想 文の一節に

……優勝したのも、なまやさしいものではない。「自分に勝つ」ということを強く思い知らされ、心のもろさと強さの両面が常にとなり合わせにいるということを知った。 魔女といわれるニチボーチームの選手たちは、ちょうど足 の悪い人が、苦しい訓練を続けてなおしたように、苦しい練習によって強くなり、そして、くずれやすい心、努力の足りない自分の心につぎづぎとうち勝っていたのだ……わたしは、その努力に盛大な拍手と尊敬の意を表したい。……わたしたちは、勉強の時にも、運動の時にも、常におこるできごとを、この本で得た心の持ち方を、「根性」でそれにうち勝ち「東洋の魔女」のあとに続きたい。

とも綴っています。

自分をおごらず、自分の足りない面を知り、常に何かを学びとろうとする態度。日本一となった今、このすばらしくたくましい「根性という宝物」をより一層みがいて、ますます光りかがやかしてくれるものと信じています。

殿貝さんが大阪府代表に選ばれた時の作文および日本一に 選ばれたときの作文の一ページに

……と知らされた時、とてもびっくりするとともに、とても名誉なことで、ますます責任を感じました。わたしが大阪代表になれたのも、お世話になった先生方や世の中のたくさんの人たちのおかげです。

……とうとう念願の日本一を勝ち得ることができました。わたしは今,みんなに祝福されています。そして最高のしあわせです。しかし,わたしは,このよろこびを自分一人のものとせず,これからの人生の起点としてがんばり続け,世の中の人のためになるような人間になりたいと思っています。

このことは、今までいろいろお世話になった方々へのお 礼にもなることだと思います。

とも書いています。

健康優良児日本一という名のもと、お友だちや世の中の人 たちからも、一だんと期待の目を向けられること と思います。

「日本一」という殿貝さんも,まだまだ欠点も多く,これ からは,何かにつけ心理的な葛藤にぶつかることが多いと思 います。

そんな時こそ,まわりの人たちの理解や,あたたかい態度 が大切だと思います。また,彼女は,彼女自身の健全な精神 により,苦難の壁を破り,りっぱに進んでいってくれること を信じています。

そして,この実力ある殿貝さんが,社会に役立つりっぱな 人間に育ってくれますよう,心からの励ましと援助をおねが いしてペンを置きたいと存じます。



(お母さん)

(よしえさん)

(お父さん)

受賞に寄せて

母殿貝一枝

師走に入り、今年もはや終ろうとしています。月日のたつのは早いもので、長女よしえも、小学校の最終学年としての学校行事その他に、児童会を通じ活躍しているようですが、背中の赤いランドセルが大変大きく感じられた一年生の頃の、いやもっと幼なき頃よりの過ぎ越しかたがいろいろと思いおこされ、お世話になりました皆々様へのお礼の気持ちをおり込みながら、成長の過程を振り返り振り返り、つたないペンを走らせております。

私どもでは、先ず「健康な精神は健康な身体に宿る。」の教えのとおり、何はともあれ"健康第一"をモットーにこれを生活目標として日々を送ってまいりました。これというのも、何か「自分でこういうことをやりたいんだが」と考えても、健康でなければせっかくの考えも坐折に終ってしまうことになりはしないか? また、その考えの何分の一しか果たせなかったとかいうことがありはしないか? など考え合わせると、健康生活を預かる主婦として、一日たりともおろそかにはできないんだなと思うこともしばしばでございました。

このたびの受賞につきまして、全国の見知らぬ方々から、いろいろとお祝のお手紙や励ましのお手紙をいただきましたが、長く闘病されていらっしゃる方からも二三いただいております。その苦しみは筆舌には尽せないものもあろうかとお察し申しております。また、今日のニュースにもありましたように、7年目を迎えたサリドマイド児のことも考えさせられる問題のように思います。

今現在は、1才の長男を含め家族一同は皆健康であるだけ に、この健康を感謝すると同時に、将来もこの健康を維持し 終えられたら、どんなにすばらしいだろうなあと感ぜずには おられません。そしてこの喜びを一炊の夢に終らせず、この 名誉をけがさぬよう、私ども両親を踏み台として、より高く 飛躍し、社会に役立つ人に成長してくれるよう希望を託し、 ともども精進してまいりたいと思っております。どうか皆々 様よろしくご指導下さいますようにとお願いしつつペンを置 きます。

殿貝よしえさんのお話

---学校新聞「**あいじつ**」から---

日本一になれたのは,校長先生や諸先生方,それにみなさん,わたしの両親,見知らぬ人にまでお世話になったからと 感謝の気持ちでいっぱいです。

東京での審査で心配したことは、運動能力と、その場にの ぞんで全力を出せるかどうかということでした。

運動能力は、ふだんより少しよい方で、わたしとしてはベストをつくせたと思います。

自分の力を出し切ることでは、持ちまえの心臓とファイト で吹き飛ばしてしまいました。

でも、東京に特選健康優良児童が集まった時、みんなとても大きいので、おねえさんかしらと思ったほどでした。それに内心"日本一はムリかも知れない"と思う気持ちもありましたが、大きさでは負けても、面接や運動能力、知能テストなどでがんばろうと思いました。

帰るころになると、みんな、とても仲よしになって、わた しが思っていた人たちとは、まるっきり正反対なので、ほっ と安心しました。

5日間ほど寝泊まりを共にしましたが、長いと思っていた 5日間がアッという間にすぎ、別れるのがとてもつらかった のです。

男子の中には

「健康優良児童ばかりの学校を作ったらいいのになあ」 と、みんなを、わらわせたりしていました。

始めの間は、テストのせいかみんな緊張していましたが、 日本一が決まると、その夜、日本一の祝賀パーテーを開いて くれたり、あだ名をつけ合ったりして、テストを受けに来た のではなく、友だちづくりに来たようなふん囲気で、たいへ ん楽しい日々でした。

健康優良児童日本一になれたことは、とても名誉なことです。しかし、その名誉におしつぶされないようにがんばりたいです。ある年の日本一にいわせれば

「わたしは,名誉との戦いだった」

と, その戦いを勝ち抜いてこそ本当の日本一だと思います。

昭和43年度特選健康優良学校・優良児

(12学級以上)

豊橋市立羽根井小学校

浜田市立原井小学校 太田原市立紫塚小学校 大阪市立精華小学校 青森県三戸町立三戸小学校

(11学級以下)

下松市立豊井小学校

熊本県矢部町立白糸第一小学校 香川県白鳥町立白鳥小学校 新潟県川西町立千手小学校

(男子)

太田市立九合小学校	瀬山富士夫	
岩手県紫波町立水分小学校	菊地 俊明	
東京都港区立青山小学校	山口 匠	
金沢市立松ヶ枝小学校	松井 茂	
京都市立明徳小学校	北大路浩史	
国立大阪教育大学付属天王寺小学校	杉野 耕造	
米子市立崎津小学校	角 三男	
広島県大和町立神田小学校	貞比良 久	
鳴門市立撫養小学校	松浦 三弥	
熊本市立託麻原小学校	小関 司	

(女子)

大阪市立愛日小学校	殿貝。	にしえ
福島県浪江町立浪江小学校	菅野	亮子
土浦市立土浦第二小学校	海野	敬子
国立新潟大学教育学部付属高田小学校	笠原	順子
芦屋市立精道小学校	加藤	惠子
會吉市立明倫小学校	田中=	F栄里
岡山市立清輝小学校	閏井	悦子
伊予三島市立三島小学校	石川	F惠子
高知市立潮江小学校	浜部建	 菜穂子
福岡県筑紫野町立二日市小学校	原田	昌子



近視予防について

広島県御調郡御調町立市小学校 養護教諭 細 川恵美子

本校学校病に対する方針

病気の早期発見と早期治療をすることにより,児童の健康 増進を図り、また治療の促進をはかりながら、疾病に対する 理解や、予防法等を理解させ、そして再びその疾病におかさ れない生活態度を指導している。それには保健指導、保健学 習,他教科により,自已理解させ,また自已処理の面から推 進して、自分の生活態度、家庭生活を学校病予防の立場から 改善するという方針で全職員努力しています。

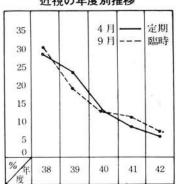
近視について

本校は、昭和39年度までは、定期の4月 臨時の9月と年 2回視力検査を行ない, 近視予防の一助として努力していた が、昭和40年度からは、年々増えてくる近視児童に対して、 教職員保健委員会,学校保健委員会等で研究協議をした結 果,毎月視力の検査を実施して,近視・ぎ近視児童の早期発 見ができるのではなかろうか、また検査を行なうことによ り, 近視に対する意識が高まり, 一層予防できるのではない だろうかという意見の一致をみました。

そこで例月計画案をたて、昭和40年度から毎月視力検査を 行なうようにした。

昭和39年度までは、視力計がなかったため、視力表を壁に 貼って検査をしていたが、検査方法に不審な面があったの

近視の年度別推移



で,新しく,移動式視 力計を購入してから は,安心してどこで も,検査ができるよう になった。

昭和30年度は,65名 (24%) の近視児童が 発見できたが、昭和42 年度は19名 (7%) と 年々罹患児童が減少し てきた。

治療状況

毎月視力検査後は,前月より視力の悪くなっている児童, 例えば 0.9 以下の児童には、養護教諭は、担任に連絡し、そ して父兄に家庭連絡をしている。

これら異常のあった児童には、学校・家庭とも早急に、原 因を追求し、早期の治療と予防に、万全を期するようにして

以前は、裸眼視力0.6以下の児童にのみ、専門医の措置を 講じていたが、昭和40年度からは、裸眼視力0.9以下の場合 も家庭連絡し、専門医の措置を受け視力が正常になった児 童,メガネを使用しなければいけない児童で,専門医の処方 でメガネをかけた児童は、学校まで証明書を提出させるよう にしている。

予 防 対 策

毎月の視力検査で,学級担任は,児童の生活態度,学習態 度に近視になるような照度の不足や, 直射日光による勉強, 姿勢, 頭髪, 偏食等の原因を調べて施設的な面の改善は, 学 校長に要望し,個人的な面は,担任,養護教諭による個人指 導をしている。

養護教諭および学級担任

近視児童が発見された場合,養護教諭は,担任に対し、そ の児童が学校, 家庭において, 学習態度, 生活態度に近視に なるような原因がなかったかを調査し、もし原因となるよう た黒板面の照度不足,窓からの直射日光,頭髪,偏食等障害 となるものがあれば、学級担任および養護教諭は、全体的な 面は、学校長に要望(改善)し、また個人的な面は、個々に 担任が指導している。

例えば担任は, 眼鏡をかける所までにいかない裸眼視力の 悪い児童の座席を前にする。勉強中の姿勢,休憩時間の運 動、休養、食べ物等について指導をたえず行なっている。

養護教諭も,担任とよく相談し,個人指導,家庭訪問,健

康相談等を計画的または臨時に実施している。

個人個人の家庭の実態を調べていると案外に電気の照度について無知な家庭が目立つことがある。

勉強机にスタンドのない家庭, 机と椅子の適正 でない もの, ひどいのになるとねそべって勉強する。テレビをみながら勉強するという児童もあった。

そこで個人指導で、偏食指導、テレビの見方、遠方を眺めることも目の疲労をやわらげることになることを指導している。

このようなことは、児童だけに指導するのではなく、家庭 との協力を十分にしておかないと実践が続かないし、また効 果が上がらないことを経験している。

助言する私たちも、子供たちの立場になり、また父兄の立 場になってみなければいけないときもある。

そして家庭の母親たちが子供たちをどう動かしてくれるかが問題なのですから、よりよい方向に進むために、健康相談や家庭訪問が必要になってくる。

私たちが真剣に取り組めば、必らずそれだけの効果があら われるものである。



(健康相談 教師,養護教諭,父兄)

家庭での活動

学級集会や、部落のこん談会等で話し合ったことで、暗くなった電気の取替え、勉強机の整備、スタンドの使用、栄養の改善等今まで気の付かなかったことで改善しなければいけないものは、できるだけ早く改善するようにしている。またテレビを見る時間も家族会議で制限し、なるべく目を疲れさせないよう努力している家庭もある。

こうした事例を、できるだけ各種集会で生の声で発表して もらい、これには成果のあったことや、失敗したことについ ても発表し、近視予防の普及につとめている。

栄養改善については、PTAの事業の一つに入れて、年3回、地区ごとに専門の栄養士を招へいし、平素困っている子供たちの偏食、栄養等について講義を受け、また実習をし、



(改善された一家庭)

食事の改善にも努力をしている。

児童の活動

児童は、保健、学習、保健指導により、実践を通して習慣 化するように努力し、例えば、週番目標にも、「姿勢をよく しよう」という目標をかかげ、なぜ姿勢をよくしなければい けないかということを考え、近視の予防もあわせて、学年相 応に努力している。

偏食をしていた児童が、偏食の矯正に努力しだしたら、視力の方も一しょに効果があらわれ、いかに偏食が体に悪い影響をあたえていたかを体験している児童もある。

また低学年では、週番目標に、学校での給食は、全部たべているのに、家庭でのおかずは、すききらいしている人があるので、「これらは、悪いことなのでやめましょう。」と真剣に取り組んでいる週もある。

テレビの視聴時間等についても、児童保健委員会や、学級 会で討議させ、できるだけ、正しい視聴ができるようにして いる。

それには、時々アンケート等も取って、児童の実態を調べてもいる。

教師が、近視の予防はこうするのだと指導することも大切なことだと思われるが、時には、学級会で討議させ、自分のものとして、毎日の生活の中に近視になるようなことを反省させて、発表さすことにより、効果をあげている場合もある。

学習環境の整備

近視の原因に,教室の黒板面の照度が関係するので,年数 回学校薬剤師による検査を受け,年1回夏休みには,どの学 級も黒板を塗りかえている。

学校薬剤師による照度検査だけでなく, 雨天時等教室が暗くなったときは, 適宜, 担任, 養護教諭による照度検査を行

なっている。

今年度は,特別の曇天時でない限り,学校保健法に定められている基準以上どの学級も保たれている。

カーテン等についても破れていたり、不潔であっては、直 射日光を防止することができないので、一昨年、PTAの奉 仕作業により、どの学級にもまぶしい光源が目に入いらない よう、新しく整備をした。

児童の机, 椅子については, 学校保健法に定められている とおり, できるだけ適正な配備をするようにしている。

例えば年2回下たい長を測定し、児童の体に適合した机、 椅子を使用させている。下たい長の測定器は、職員の発案した椅子式測定器を使用している。

保健指導·保健学習

朝の健康観察や、相談の時間、保健指導の例月計画案により、学年相応に指導を行なっている。

例えば目に関する指導は、毎月14日を「目の病気の予防」 と定めて保健指導を行なっている。年11回は目に関する指導 ができるわけである。

保健学習は,各教科,道徳,学校行事,特活等の四領域と 関連させて指導しているが,児童の疾病予防,習慣形式の効 果も,この保健学習や保健指導によるものが多い。

要は、実行できる子供、実行する子供に育てなければいけない。

結び

どの疾病にもいえることであるが、疾病に対する早期発見、早期治療が大切であるが、要は、平素から疾病にかからない生活態度を指導することの方が大切で、これには前にも述べたように、学校だけの指導に終らず、家庭を結ぶ協力を緊密にしなければいけないことを痛切に感じている。

年々家庭における保健思想が向上はしてきているが, まだ まだたくさんの問題が残されている。

これからもこれらの問題を一つづつ打破し, 視力障害児の ため研究していきたい。

あとがき

☆ 健康優良校・優良児日本一の特集をして、いつも思うことは、短い文からにじみ出る学校経営・育児の奥深い広がりと、長い年月の足跡である。

お忙しい中から寄稿いただきましたことを感謝申しあげ ると同時に深甚な敬意を表します。

★ *健康教育。はごらんのようにささやかなものですが、じっくりと根を張ってきたようです。業を茂らせ幹を太らせるため、現場の先生方からのご寄稿によるご協力をお願いいたします。

肝油ガーゼのおすすめ

浦和市立大谷場小学校

養護教諭 加藤利子

昔は、結核に罹れば栄養にといって、ヘビの肝臓とか 肝油をのむと非常に体力がついて、病気も早くなおると 聞いていました。

2年前までは雪国の病院で長い間勤めていましたが、 今のように抗生物質もありませんでしたので、筋炎、よ う、ちょうと言う化膿性の疾患が多いようでした。それ らの治療には、切開(排膿)後の大きな傷の中に、肝油 に白色ワゼリンを入れて作った軟膏を入れ、3~4日く らいそのままにしておき、その後交換しましたとき、肉 が盛りあがって、あの大きかった傷が小さくなっている のには驚きました。

肝油の成分は、ご承知のようにビタミンA・Dです。 そのA・Dが傷口から入って、あのように大きかった 傷を数日のうちに小さな傷にしてしまうのでしょう。

養護教師として勤めるようになり、児童の切創、擦過 創の手当てに(裂か傷――どろがついているときはオキ シフルで洗い、その他は赤チンキをつけ)その後でこの 肝油で作ったガーゼを使っています。油ですので水をは じき、また、傷にガーゼがくつかず、痛くないので子供 たちは安心して保健室に来ます。それに、早く治るの で、

「こんなに良くきくお薬はない。先生,何と言うお薬 ですか。」

と聞かれます。また、ちょっとした皮ふ病にもたいへん 好結果のあることを知りましたが、一石二鳥とはこんな ことを言うのでしょう。子供たちは、治療が痛くないの で、どんな小さな傷でも保健室に来てくれますから、私 も安心ですし、保健室はいつも繁昌しています。

ご承知のこととは存じますが、肝油ガーゼの製法と使 用法を付記いたします。

日本薬局方 肝 油 ガラスのシャレーに入 の 白色ワゼリン れてとかします

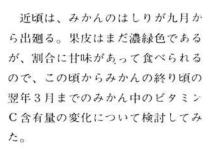
その中に使いやすく切ったガーゼを入れて肝油をしませます。

使うとき,かん子の先でガーゼ1枚ずつ取り出して 使用します。

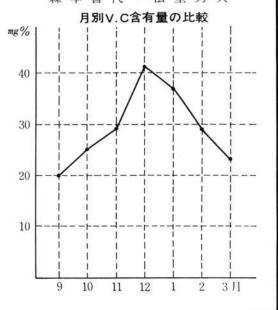
水 常

月別みかんのビタミンC含有量の比較

昭和34年度 国立栄養研究所 研究報告掲載 森本喜代·松室秀夫



みかん 1 個の平均重量は90~1309 ジュースは平均重量の約%、測定日 は各月の月末から翌月の初めとした。 その成績は右の表のとおりである。



★愛育研究所保健指導部長 医学博士 松島富之助先生

★お茶の水女子大学教授 医学博士 平井信義先生 これは河合製薬提供のラジオ番組で、毎日 毎日お家庭のお母さん方が、心をいためる お子さんの病気や教育、あるいはしつけな どについて、左記の両先生が親切にお答え くださいます。ご利用ください。

【各局の放送時間】

(但除日曜) 日 9時15分から ニッポン放送毎日 九州朝日放送 9時25分から

(東 京) (北九州) 東海ラジオ放送 9時45分から ジオ中国

ラジオ大阪放送 11時35分から (大 阪() 北 放 送 10時10分から

(名古屋) (12:

鳥) (fili 行)

学童の健康づ

品質本位の保健栄養剤

3,000国際単位 VA 1 松中 { VD. 300国際単位

肝油ドロップB

VA 2,000国際単位 V D₂ 1粒中 200国際単位 VB, (セチル硫酸塩) 2.75mg

製造発売元 河合製薬株式会社

VA 3,000国際単位 VD2 300国際単位 1粒中 VC 20mg

給食強化剤

 $1 \; g \; \ \varphi \; \Big\{ \begin{smallmatrix} v & A \\ V \; D_2 \end{smallmatrix}$ 50,000国際単位 5,000国際単位

東京都中野区新井2丁目51-8

